



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2026/4/5発行

第116号

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

ワークショップ

多彩な学びが広がったワークショップ



今回のワークショップでは、ベンジャミン学校の講師陣がそれぞれの専門性を生かし、多彩な授業が行われました。

◆まず行われたのは、「好きを仕事に生かす方法」をテーマにした講話。自分の興味や得意分野を社会でどのように活かしていくのかを考える時間となり、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

◆続いて、お気に入りの本を持ち寄る読書会を開催。生徒一人ひとりが大切にしている本を紹介し合い、本を通して互いの考えや価値観を知る温かな時間となりました。



◆我理朗（アリラン）気功の実践では、呼吸と体の動きを整えながら心身のバランスを整える体験を行いました。身体を使った学びに、生徒たちは集中して取り組んでいました。

◆語学の授業では「中国語で話してみよう」セッションを実施。最初は漢字だけが並んでいて何が書いてあるのか分からない言葉も多く、生徒たちは不思議そうな様子でしたが、答えを聞くという意味が理解でき「なるほど」と納得する場面が続きました。クイズのように楽しみながら中国語に触れることで、生徒たちの興味を引き出す印象的な授業となりました。



◆ベンジャミン・クイズでは、体を動かしながら楽しく学ぶ工夫が盛り込まれ、チームで協力しながら大いに盛り上がりました。

◆校長による脳教育原理講座では、脳教育の原理について学びました。脳をどのように活用すれば本来の力を引き出せるのかを知り、生徒たちは自分自身の可能性について改めて考える機会となりました。



◆夜のプログラムでは、新入生を迎えてハッピーパーティを開催。卒業生と在校生が中心となって企画・運営を行い、おとぎ話を題材にした模擬裁判などユニークな活動で大いに盛り上がりました。物語を別の立場から見つめ直すことで、生徒たちは新しい視点を発見し、人の立場や背景を想像しながら考える力を育む貴重な学びとなりました。



最後には、卒業生が卒業後も継続して取り組んでいる「地球市民アクション（グリーンアップ活動）」についての発表も行われました。社会に貢献する先輩の姿は、生徒たちにとって大きな刺激となりました。

一日を通してオンラインでのプログラムでしたが、休憩時間には外に出て自然を見つめるミッションや瞑想のミッションも用意されていました。自然や自分の内面にも意識を向けながら取り組むことで、生徒たちは最後まで集中して参加することができました。

生徒の声

「普段なかなかできない中国語を学べて新鮮で楽しかった」
「オンラインばかりでなく、自然と触れ合うことができた」
「ベンジャミン・クイズは、身体を動かしながら勉強できて面白かった」
「他の人の意見を聞いて、自分なりに解釈して理解できるようになった」
「みんなが楽しくできるような成功させたいと思い、最後まで諦めない自分に成長しました」
「ベンジャミン学校では、このような多様な体験を通して、生徒一人ひとりが自分の可能性を広げ、未来を切り拓く力を育んでいます。」

Instagramで最新情報公開中

詳しくは
ベンジャミン学校 検索